



# 江府町報

11月号

発行者  
鳥取県江府町  
電話 江尾(代) 2211  
編集 企画室  
印刷 (有)富士印刷

江府町の人口  
(10月31日現在)

世帯数	1,340	世帯	
人口	5,151	人	
	(前月比)	1	人増
(男)	2,515		
(女)	2,636		
出生	5		
(男)	2		
(女)	3		
転入	21		
(男)	14		
(女)	7		
転出	20		
(男)	10		
(女)	10		
死亡	5		
(男)	4		
(女)	1		

第155号

## 新県道が開通

### 俣野川発電関連の代替施設

中国電力の俣野川発電所建設に伴う俣野川ダム築造のため、一部が水没する県道(上徳山俣野江府線)の付替工事が急がれていますが、このほど完成し、十一月二十六日開通式が挙行されました。

付替区間は、新道地内から池の内地内に至る総延長四三六九メートル、全幅七メートル(武庫踏切から武庫現道分れまでは八・七五メートル)で、この間トンネル一か所、一八七メートル、橋梁二か所、一一五メートルを施設し、総工費は約四〇億円です。開通式は、関係者多数列席のもと武庫側で神事とテープカットが行われ、引き続き列席者全員緩やかな新県道をパレードし開通を祝いました。

この県道付替工事は、昨年三月発電所建設に対する地元関係地区の基本同意によって仮設備工事に着手し、九月から本格的な工事が進められていたものです。新県道の開通で、武庫地内一の渡瀬橋から池の内地内までの旧県道をしゃ断しいよいよ本格的に俣野川ダムの築造が開始され、昭和五十九年夏の二、三号機(六〇万キロワット)運転開始に向けて工事が進められます。

▲テープカットをする右側から小石川俣野川発電所建設所長、井上町長、石黒県道路課長、施工者代表、秋山奥村組広島支店長

11月臨時町議会

三千五百万円で契約

洲河崎 下安井線の改良工事

十一月臨時町議会は、十一月六日開かれ、町長提出の全議案を原案どおり可決しました。議決された事項は、次のとおりです。

専決処分した町一般会計補正予算の承認

参議院議員選挙費、公共土木施設災害復旧費計一千五百四十三万五千円を追加し、予算総額を二十八億五千六百九十一万六千円としました。

町道改良工事請負契約の締結

町総合計画に基づき、継続して施工している町道洲河崎下安井線の改良整備事業で、指名競争入札で住田組と請負契約(工事費三千五百万円)の承認。

晴れの受彰

加藤 さんに

勲4等瑞宝章



昭和56年秋の生存者叙勲で、侯野の加藤政吉さん(76歳)が教育功労者として勲4等瑞宝章を受けられました。

加藤さんは、昭和2年岡山県の中学校教諭に就任以来、岡山・鳥取両県で教育振興に尽くされ、功績は多大なものがあります。



下尾 さんに

厚生大臣表彰

このほど下尾千鶴子さん(美用・70歳)に功労者として厚生大臣表彰が贈られました。

下尾さんは、民生委員を委嘱されて以来34年間、社会の「縁」の下の力持ち、として献身的に尽くされ、今回の表彰になったものです。

投票率

八六・六五

参議院地方区補選

参議院議員石破二郎氏の死亡に伴う参議院議員鳥取地方区補欠選挙が十一月一日に行われ、小林国司氏が当選しました。



公民館の新築工事が計画されているため、現在の公民館では最後の投票(佐川公民館で)

今回の選挙は、補欠選挙のせいもあって全般に低調ムードで、投票率は県平均六七・四五程と低くありませんでしたが、本町の場合は、男八五・三三、女八七・八七、計八六・六五と県下で二番目の高い率でした。また当日有権者は男、九四三人、女、〇八六人、計四、〇二九人でした。

町長日誌

\*10月

1日(木)	1日(木)	2日(金)	3日(土)	4日(日)	5日(月)	6日(火)	7日(水)	8日(木)	9日(金)	10日(土)
庁内会、山莊甘酒茶屋OB会	農協神奈川支所及靱共同乾燥調製施設しゅん工式	農業用ダム協議	県土木事業要請会議、佐川役員来庁	県町村会総会(米子)	土木事業入札、西部建設業協会役員来庁、本五・杉谷役員来庁	中電山根会長来庁、根雨保健所運営協議会	西部広域正副管理者会議(米子)	町高齢者スポーツ大会、梶町庭球選手権大会、梶	町庭球選手権大会、梶	町庭球選手権大会、梶
23日(金)	24日(土)	25日(日)	26日(月)	27日(火)	28日(水)	29日(木)	30日(金)	31日(土)		
中電技術コンサルタント・助沢役員来庁	中国国自然休養村協議会設立総会(岡山)	新道地区児童遊園地・急傾斜地崩壊防止施設工事しゅん工式	柿原・宮市役員来庁、建設関係入札	下蚊屋役員来庁	町職員・農協職員同和研修会(第一日)	柿原地区現地調査、町職員・農協職員同和研修会(第二日)	農林事業入札、下蚊屋大根組合総会、安全索道来庁	参議院議員地方区補欠選挙準備会議		
12日(月)	13日(火)	14日(水)	16日(金)	17日(土)	18日(日)	19日(月)	20日(火)	21日(水)	22日(木)	23日(金)
木参議院議員来庁	日本海新聞社取材、江尾テレビ組合役員来庁	西部町村長会	全国自然休養村現地研究会(愛知県)	在勤	町野球選手権大会閉会式	在勤	県農林部長来庁、教育委員会議	武庫発電対策会議、洲河崎役員来庁	中電技術コンサルタント・助沢役員来庁	中国国自然休養村協議会設立総会(岡山)

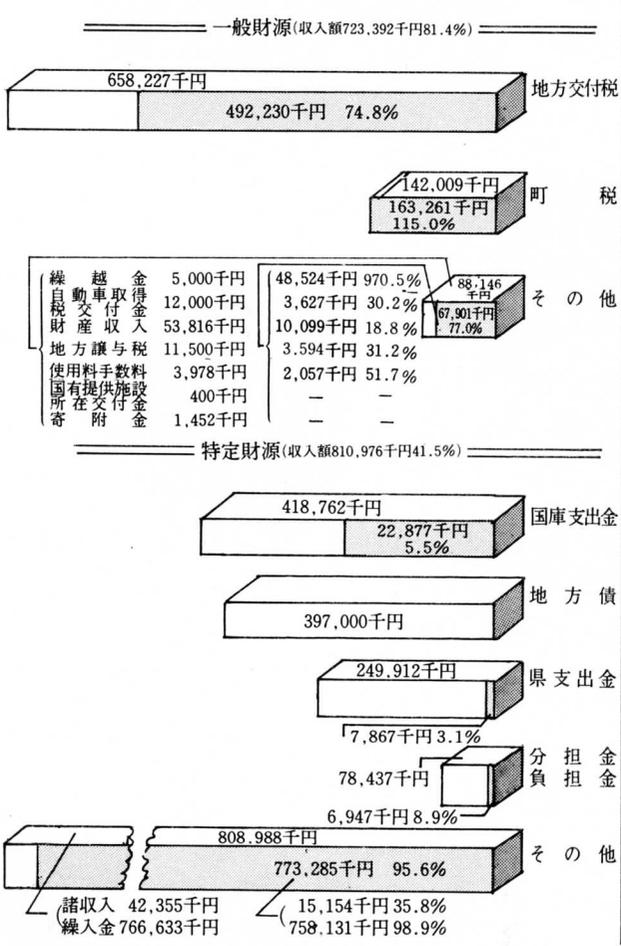
# 江府町財政状況報告

昭和56年4月1日から昭和56年9月30日までの財政執行をお知らせします。

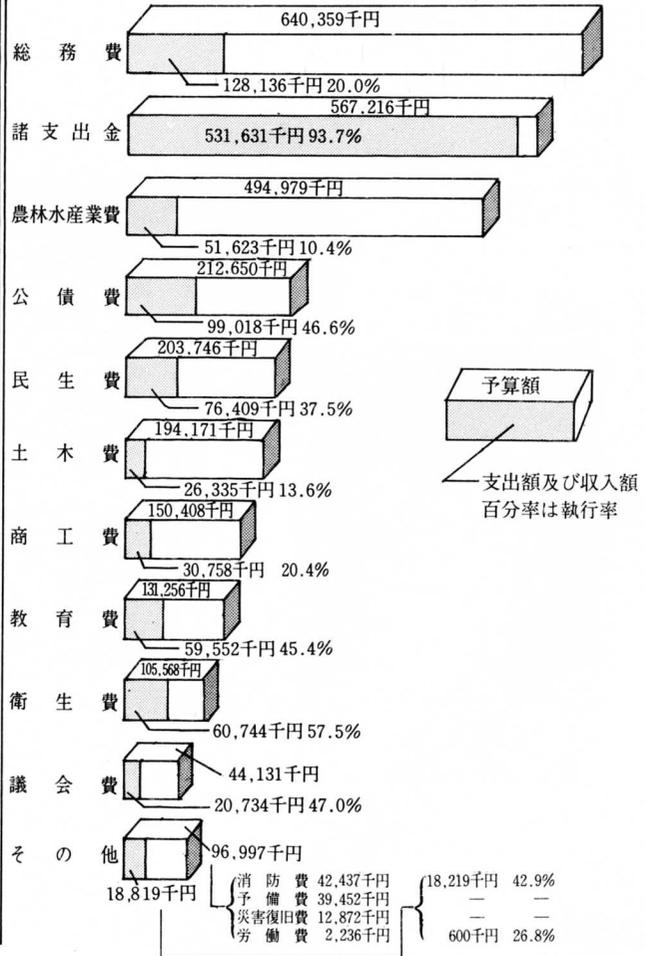
みなさんが納められた税金や国からいただいた地方交付税などがどのくらい入り、使われたかを図表に表わしました。

## 一般会計財政状況 (9月30日現在)

歳入 2,841,481千円 | (収入額 1,534,368千円 54.0%)



歳出 2,841,481千円 (収入額 1,103,759千円 38.8%)



## 町税の調定と収入 (9月30日現在)

税 目	調 定 額	収 入 額	徴収率
町 民 税	108,308千円	71,132千円	65.6%
固定資産税	112,278	60,749	54.1
軽自動車税	4,193	4,143	98.8
たばこ消費税	10,353	10,353	100.0
電 気 税	13,025	11,669	89.6
木材引取税	218	0	—
特別土地保有税	5,215	5,215	100.0
合 計	253,590千円	163,261千円	64.4%

## 財産表 (9月30日現在)

財産別	種類	数 量
行政財産	土地	13,954㎡
	建物	7,277
公共財産	土地	88,053
	建物	14,180
普通財産	土地	4,836,827
	建物	—
	有価証券	3,551千円
	出資証券	2,011

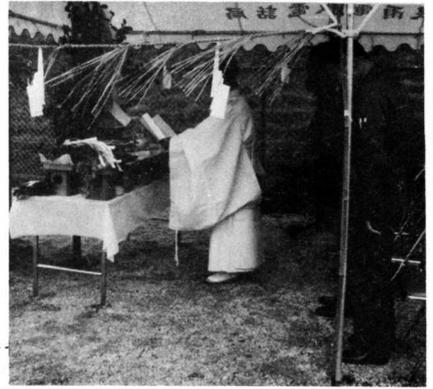
## 積立基金 (9月30日現在)

基金別	金 額
財調基金	108,000千円
公有林基金	147,202
土地開発基金	10,000
社福基金	18,000
部落経営基金	577,083
合 計	860,285

## 水神さんを奉祭 第二(俣野)共同水道

昭和五十四年に完成した町第二共同簡易水道の管理組合(坂口理郎組合長)では、十一月十四日、井上町長や当時の建設関係者を招き、日の詰地内の水源地で「水神さん」の奉祭式を行いました。

これは「豊かで、きれいな水は天与のもの、自然の恵みに感謝したい」という発想で、井上町長は「忘れられがちな自然環境の恩恵をよろこび、心のよりどころとして神をまつる敬けんな姿は美しい。いつまでも、みんなの水道を大切にしたい」と挨拶。式後ポンプ室に遷座の水神さんに安全を祈りました。



▲集水池前で行われた奉祭式

▶右の写真は約150人参列して定礎式

「定礎」と書かれた礎石を埋める井上町長と中田議長



十一月十六日、俣野川発電所の定礎式が行われました。

定礎式は、毛無山山ろくの地下約五〇〇メートルの岩盤を長さ一五・五メートル、幅三・五メートル、高さ四・四メートル掘削した地下発電所建設敷地で、関係者約一五〇人が参列して行われました。

工事は、約三割進み六十一年完成を目指して着々と進められています。

## 俣野川発電所で定礎式



▲厳肅に営まれた町慰霊祭

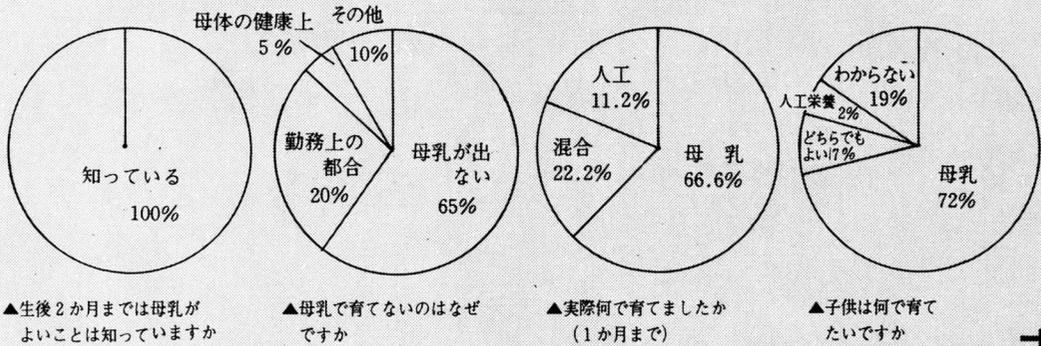
## 遺族141名が参加 町慰霊祭

恒例の町慰霊祭は、十一月十日午前十時から土井之内会館で、井上町長が祭主となり、町内寺院を始め関係六か寺の奉仕を得て、仏式により厳肅に営まれました。

式には、遺族百四十一名、来賓四十五名が参列し、尊い犠牲者のめい福を祈りました。

また、式後、歌や舞踊など二時間にわたり遺族の慰安を行いました。

母乳調査をグラフでみると...



赤ちゃんは母乳で

上のグラフは、昭和五十四年十一月に江府町の民生委員によって行われた「母乳調査」の結果です。母乳の大切さは、よく知っていますが、実際に母乳で育てている人は57%です。母乳で育てない理由として、母乳が出ないが一番多く書かれています。

母乳が出ない。というなかに、お母さんが「乳が出ない」と早目にあきらめてしまうケースが多

いのではないかと思えます。母乳は赤ちゃんが吸う事により良く出るようになります。最初は、赤ちゃんも吸う事がへたなものでなかなかうまくいきませんが、その時期が大切でお母さんは、あきらめずに根気よく吸わせて下さい。それと同時に、お母さんは、栄養をしっかりととり、精神的にも落ち着いたらゆったりとした気持ちで赤ちゃんを抱き、お乳を与えて下さい。

母乳栄養の利点

- ▲消化吸収が牛乳よりすぐれている
- ▲調乳の手間がいらす衛生的
- ▲アレルギーを起こさない
- ▲消化不良症などのときにも与えられる
- ▲母と子のスキンシップにより健全な母子関係の確立に役立つ
- ▲疫病感染に対する抵抗性にすぐれている

母乳不足の見分け方

- ▲授乳時間が30分以上もかかる
- ▲授乳間隔が短い
- ▲下痢、便秘が続く
- ▲体重の増加が少ない
- ▲眠りが浅く、ふきげん



保健行事

— 12月 —

〈乳幼児相談〉

日時：昭和56年12月16日(木)  
午前9時～11時  
午後1時～3時

対象：満1歳未満の乳児及び  
幼児(満1歳6か月未満)

場所：江府町役場裏二階

第6回食生活改善講座

日時：昭和56年12月17日(木)  
午後9時～午後3時

場所：江府町農協マーケット 2階

牛乳・チーズ・卵・レバー・牛肉・鶏肉などの動物性たんぱく質は、バイ菌やウイルスに対する免疫体をつくるため、また、体の細胞の抵抗力づくりに欠くことのできない食品です。また脂肪はカロリリーが高いので体内暖房をふやし、冷えを防ぐのに有効です。

さらにビタミンを多くとることが大切です。ビタミンA食品は、粘膜を丈夫にするので不足しないように。同じくビタミンC食品は細胞を丈夫にし、カゼの予防に役立ちます。生野菜や果物は、ビタミンCの補給と同時に、血液が酸性になると、体が疲れやすく、また貧血ぎみになりますから、どうしてもカゼをひきやすくります。

冬はとくに栄養をたっぷりとり

予防の食事と栄養

かぜをひいたときの食事

栄養のバランスのとれた食事がとくに大切です「食欲がないから」といって、おかゆに梅干では回復もおくれます。チーズ・バター・熱い牛乳・くだもの・肉や野菜のたっぷりはいったスープなどを食べます。とくに熱がでるとビタミンCが多量に消耗されます。ビタミン類の確保も忘れてはなりません。社会保険出版社発行「冬のけんこう」から





人と人との助け合い

# 献血ありがとうございました

日本赤十字社の献血車が十一月十一日、十二日の二日間、町内を巡回し、百四人の皆さんから心温まるご協力をいただきました。  
(太字は、巡回場所)

## 献血者芳名 (敬称略)

### 中国電力俣野川発電所建設所

- 藤原昌美 足立好子 岡本幸枝
- 宇田川サカエ 小坂仁志 汐田秋
- 福田いづみ 橋谷久美 江崎淳一
- 國頭暉一郎 榎原豊博 小池敏彦
- 杉谷道弘 下坂美鈴 瀬崎恭子
- 宇田川千万亀 門脇祐二 鶴川稔
- 小椋真理子 田中敏郎 西谷信広
- 安達貴行 玉井富美夫 岩谷康夫
- 西尾憲司 堀部守宏 下村道夫
- 丸井健治

### 江府町役場

- 坂口理郎 下村敦子 川上良文
- 竹内幸夫 奥田由美子 中川秀樹

- 井上あけみ 太田厚 森田由香里
- 本高善久 末次輝夫 永井明正
- 遠藤功 千藤正 西田哲 塚原守
- 影山祐輔 南波千明 長谷部后
- 長岡洋子

### 江尾郵便局

- 加藤達也 圓山湧一 大江公史
- 篠村利治 砂口幾代 相見裕子
- 竹内勇 松原康博 砂口倭子
- 長岡和代

### 農協神奈川支所

- 澤口勉 岩田照子 川上真知子
- 加藤卓美

### 大成建設中電俣野作業所

- 塚本敏夫 畝本勝彦 西川典廣
- 川端一正 大崎博美 大浦幹男
- 大中猛 江藤俱義 青木義信
- 池田延良 榎木邦紘 村田和郎
- 川上力 辰己暁 高木健 松元勝
- 岡博 矢竹勉 山中馨 加藤賢治
- 藤原俊貞 吉富幸雄 鎌田一郎
- 津田敏夫 五十嵐安雄 幸真正明
- 加藤由加利 加藤節子 浜本鉄雄
- 官能木の実

### 間組中電俣野作業所

- 後藤透介 山本鶴次 松崎清子
- 伊藤しず子 池田安位 永岡雅子
- 佐藤工業中電俣野作業所

- 別所隆道 福光達弥 藤井英明
- 榎本昌幸 富岡孝行 佐々木忍

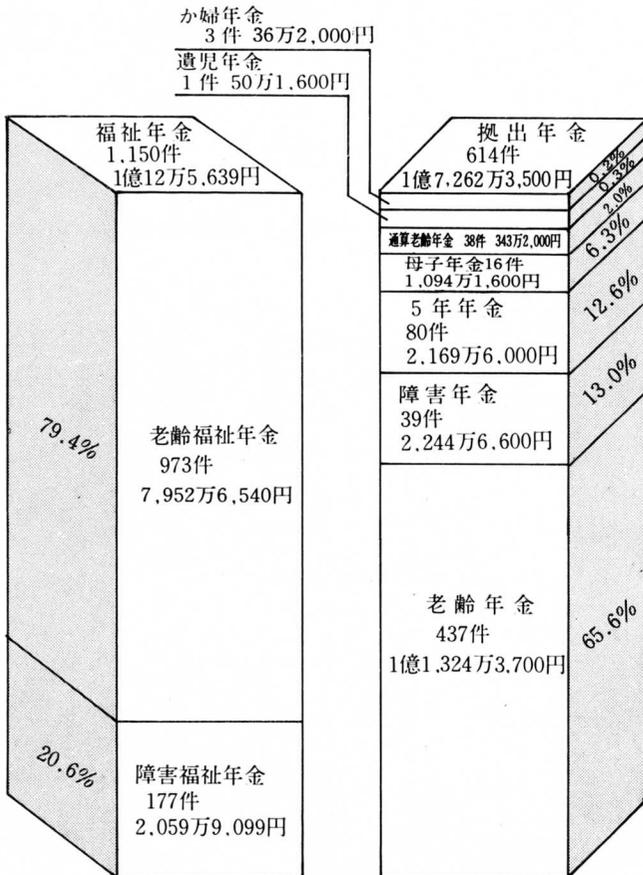
## —昭和55年度—

### 国民年金

# 九百七十九名が年金受給

昭和五十五年度中に本町の受給者に支払われた国民年金の総額は、拠出年金、福祉年金あわせて、二億七千二百万円に達しました。

次の表は、右の年金を内訳別にしたものですが、受給人員では福祉年金を受取る人(三百六十五名)に対し、拠出年金の受給者(六百十四名)は二百四十九名も多く、金額的にも「老後の所得保障」にふさわしい額となっております。



# 1日 が 2,761円

## 鳥取県の最低賃金

鳥取県下の全事業所の使用者と労働者に適用される「鳥取県最低賃金」と「産業別最低賃金」が下表のとおり決められています。

あなたの事業所に適用される「産業別最低賃金」がない場合は、「県最低賃金」が適用されます。

これらの最低賃金は、最低賃金法に基づいて決定したもので、使用者は、この最低賃金額より低い賃金で労働者を使用すると、法律違反となりますので注意してください。

最低賃金について、詳しいことを知りたい人は、米子労働基準監督署 ☎0859-34-2231) にお問い合わせください。(鳥取労働基準局)

最低賃金決定件名	最低賃金額	実施年月日
鳥取県最低賃金	時間給労働者 1日 2,761円(1時間346円)	56.10.2
産業別最低賃金	食品製造業 1日 3,177円(◇ 398円) 軽作業者 1日 2,977円(◇ 373円)	56.11.6
	繊維産業 1日 2,985円(◇ 374円)	56.11.6
	卸売業・小売業 卸売業1日3,187円(◇ 399円) 小売業1日2,985円(◇ 374円)	56.11.6
	木材・木製品・家具・装飾品製造業 1日 3,265円(◇ 409円) 軽作業者 1日 3,025円(◇ 379円)	56.12.14
	パルプ・紙・紙加工品製造業 1日 3,240円(◇ 405円) 軽作業者 1日 3,090円(◇ 387円)	56.12.14
	出版・印刷・同関連産業 1日 3,194円(◇ 400円)	56.12.14
	窯業・土石製品製造業 1日 3,351円(◇ 419円)	56.12.14
	機械・金属製品等製造業及び自動車整備業 1日 3,329円(◇ 417円) 軽作業者 1日 3,067円(◇ 384円)	56.12.14

(注) 最低賃金額には、次の賃金は算入されません。

- (1) 精皆勤手当、通勤手当、家族手当
- (2) 臨時に支払われる賃金
- (3) 1か月をこえる期間ごとに支払われる賃金
- (4) 時間外・休日労働賃金

今年も恒例の「歳末たすけあい運動」が十二月一日から町老人クラブ連合会の奉仕で行われます。昨年は、五十七万八千三百三十三円の募金が集まり、施設に入っている町の出身者や寝たきり老人、母子家庭等にそのまごころを贈りました。私たち一人一人のささやかな善意が恵まれない人たちに明

### 広がる「善意の輪」



### 歳末たすけあい運動

十二月二十二日から三十一日までの十日間「年末の交通安全県民運動」が行われます。とくにこの

歩行者も運転者も気をつけて  
年末の交通安全県民運動  
12月22日から  
12月31日まで

るお正月を迎えられるように、越年資金や日常の必需品購入のための費用として役立っています。今年も奉仕者の訪問がありましたら、ご協力をお願いします。

募金額

- 普通募金 三〇〇円
- 中口募金 五〇〇円
- 大口募金 一、〇〇〇円

各世帯の任意募金とします。

期間は、年末で心ざわしく、またお酒を飲む機会も多くなり、交通事故の多発が予想されます。交通安全事故は、年増加の一端をたどり、多くの人がびとが苦しめ、しあわせな家庭がこわされています。お互いひとりひとりの自覚と

正しいルールの実践により、交通事故の絶滅をはかりましょう。

運動のスローガン

- ・飲んだら乗らない 乗るなら飲まない 飲ませない
- ・事故防止 町から 村から 庭から 家

十二月二十四日(木)  
午前九時三十分から  
午後三時三十分

(区域)  
貝田、袋原、大方

十二月二十二日(火)  
午前九時三十分から  
午後二時三十分

(区域)  
下蚊屋

＝ 人権の共存 ＝

12月4日～10日 人権週間

互いに相手の立場を考えて、豊かな人間関係をつくろう

本町の人権擁護委員さんは次の方です。  
お気軽にご相談下さい。

上原 裕臣 (江 尾) 電話 二〇七八  
安江 久夫 (洲河崎) 電話 二二〇八

### 12月の作業停電

十二月十七日(木)  
午前十時から  
午後三時三十分

ふるさと歳時記 ⑧

郷土の近世生活史料

フジユキさん信仰 (二)

作州に残る藤行墳墓

フジユキさんの伝承については「江府町史」に詳しいので、ここでは



▶岡山県真庭郡川上村にある「陰山藤行」の墓

省略し、資・史料にみえるものをひらいておきたい。

第一は、岡山県川上村上徳山の天王殿に建つ「藤行さんの墓」である。高さ一・五メートル、風格のある五輪塔で、上部の空・風二輪が損壊したのか新しいものを積んであり、土地の人は「お墓さま」と崇敬し、麓山の文化財にも指定されている。

このかたわらに一五ヶ角、高さ六〇センチほどの石柱が建てられており、正面に「伯州庄山城主陰山藤行墓」

左側面に「願主佐藤次郎兵衛」と陰刻があるが紀年銘などは見当たらない。五輪塔の前には鉄製の長刀形などが供えられているのは久連の藤位紀信仰伝承と同じで、こちらの場合「足が痛むとき」・「徴兵検査のがれ」に願をかけたという。その理由は「足が痛むのに長刀を杖にして落ちのびた」という伝承によるものである。

『作陽誌』にみる藤行さん

この五輪塔を「藤行墓」とするのは「作陽誌」の記述である『作陽誌』は元禄二年(一六八九)津山藩の家老長尾勝明が、藩主森長成の命をうけて編纂した地誌で、この中の「大

庭郡古跡部」に「陰山藤行墓 在同村相伝、伯州庄山城主陰山藤行者、軍敗而走、到此自殺。其在雲州、毎年中元來宮備茶菓燈燭、近來漸無追薦。是去祖遠速而遺忘者歟」とみえ、元禄初年ごろ「相いろう」次第を明確にし、「出雲にいる子孫が盆の追善供養をも怠るようになった」と歎じている。

山名一族とのからみ

この記述による「フジユキさん」は「伯州生山城主」といい、町内の伝承と相違があるが「萩藩閩閩録」は「日野郡生山城主山名藤幸」を「戦国期美在した人物」としており、中世、伯耆守護職にあった山名氏の名をあげている。

人の動き (10月)

お誕生おめでとう

- 池の内 加藤 吉香 泰巨 二女
- 杉谷 末次 正和 清士 長男
- 栗尾 加藤 美善 俊六 長女
- 本五 川端沙耶香 登志一 長女
- 新道 寺尾 泰道 壽郎 長男
- ◇こめい福を祈ります
- 杉谷 河上武成 91歳 公博宅
- 池の内 藤原義治 83歳 忠文宅
- 佐川 住田亀雄 78歳 武雄宅
- 助澤 北村壽一 81歳 隆雄宅
- 下蚊屋 筒井林江 73歳 京一宅

結婚を祝します

- 中前武士 小江尾
- 松本晴美 米子市葭津から
- 小林 守 江尾
- 赤井美鈴 西伯郡会見町から
- 加藤静夫 俣野
- 川上真弓 日野町三谷から
- 白石和男 江尾
- 渡部広美 島根県安来市から
- 大西 讓 広島県比婆郡
- 林 文子 武庫から
- 生田方人 江尾
- 松尾香代美 日南町新屋から
- 松本 明 米子市尾高町
- 本高弘子 江尾から
- 久木憲吾 下安井
- 西田和末 江尾から
- 小椋弘正 下蚊屋
- 天野ユリ子 山口県防府市から

ありがとう

いよいよ来ました

十月中寄託分

内祝として

本三 吉岡省吾殿(ご本人様退院)

- 西成 山本町子殿(ご本人様退院)
- 柿原 加藤たか子殿(ご本人様退院)
- 武庫 加藤昭男殿(ご本人様退院)
- 美用 下垣 厚殿(ご本人様退院)
- 本一 中野辰美殿(ご本人様退院)
- 袋原 清水明美殿(ご本人様退院)
- 池の内 山野久司殿(ご本人様退院)
- 本五 岡田信雄殿(ご本人様退院)
- 佐川 下村睦子殿(ご本人様退院)
- 本一 田口謙二殿(ご本人様退院)

香典返しとして

- 荒田 樋口純敏殿
- 杉谷 河上公博殿
- (祖父武成様ご逝去)
- 久連 川上萬喜江殿
- (夫英雄様ご逝去)
- 佐川 住田武雄殿
- (父亀雄様ご逝去)

善意銀行受払報告

1. 九月末累計額 百八万五千六十三円
2. 十月中寄付額 十二万五千円
- 内 訳
  - 快気祝 十四万円
  - 香典返し 七万五千円
3. 十月末累計額 百三十九万六千六十三円